

ふれあい通信

「秋葉1丁目世帯主名簿」の発行について

私たちの町内会では、「秋葉1丁目世帯主名簿」を4年ごとに発刊しています。今年度は作成する年度に当たります。ぜひご協力をお願いいたします。

作成の資料となる「家族表」をまだ提出されておられないお宅もあります。未提出の方は早急に提出をお願いいたします

1. 世帯主名簿作成の目的

- ・ 非常災害時や平常時の高齢者等の安否確認と救助に役立てる。
- ・ 各隣組内の世帯数や世帯主名の把握など町内会活動に役立てる。
- ・ 住民の福利厚生のために役立てる。

2. 個人情報保護の問題について

- ・ 町内会は個人情報保護法の適用を受ける団体ではありません。しかし、近年プライバシーの保護についての意識が高まっていることから世帯主名簿の発刊についても疑問をもたれる方がおられるかもしれません。しかし、これは町内会活動や住民の安心・安全のために必要なものであることをご理解ください。

なお、作成した世帯主名簿について、町内会としてはその管理・利用に万全を期すことといたしておりますが、全世界帯に配布された後、住民の皆さんには外部への目的外の情報提供などは厳に控えるようお願いいたします。

3. 詳しくは町内会総会でご説明いたします

- ・ 平成23年度町内会総会（4月17日（日）午前10時～）において、発刊について説明申し上げ、了解を得るつもりです。また事前に調査を行い、どうしても掲載を希望しない方については、名簿に掲載しないことといたします。発刊は5月下旬頃を予定しています。

22年度の各種募金のお礼

平成22年度においては町内会を通じて5回の募金を行いました。これらにおいて皆様の多大なご協力をいただきましたことを心より感謝いたします。

募金名	協力戸数	募金金額
緑の募金	307戸	34,200円
愛の協力運動	281	42,700
赤い羽根	305	117,300
歳末助け合い	284	84,400
小須戸火災見舞金	275	113,750



人ごとではない大災害 <東日本大震災から学ぶ家庭の災害対策>

大規模な災害は、人々の暮らしをめちゃめちゃにしまいます。特に大災害になりやすいのは大規模な地震です。しかし地震以外にも火災、水害の危険性もあります。またこれらの災害で自宅に直接の被害がなくても長期の停電・断水ということも考えられます。家庭における火災もその家庭においては大災害です。

災害にあってからあわてるのではなく、どのような災害があっても自分と家族を守る態勢をふだんから整えておくことが大切です。

<災害対策はどのようにしたら良いでしょうか>

1. 地震対策

- ・タンス等の家具類は地震が来ても倒れないように固定しましょう。またタンスや大きい本棚等の上に大きなもの、重いものを乗せておくと地震の際に落ちてきて危険です。特に人のいるところ（居間、寝室等）では高いところに物を置かないようにしましょう。

2. 水害・地滑り対策

- ・住んでいる所で水害や地滑りの危険があるのかどうか確認しておきましょう。危険があるところでは大雨が降った場合にはすぐに逃げ出せるような準備をしておきましょう（避難方法の確認、非常持ち出し）。

3. 火災予防・初期消火

- ・住宅用火災警報器を設置しましょう。消火器も備えておきましょう。消火器の有効期限が過ぎている場合は新しいのに買い替えましょう。
- ・ガステーブルやストーブ等の周辺に燃えやすい物がないか、またコンセントの差し込み口に埃がたまっていないか等、火災の際の火元になりやすいところを定期的に点検しましょう。

4. 各災害共通（事前に備えておくこと）

- ・非常持ち出し品（最小限の衣類、保存が利く食料品・水、懐中電灯等）を常備しておきましょう。（非常食・水は時々新しいのに買い替え）
- ・避難場所、避難ルートを確認しておきましょう。また家族が離れ離れになった場合の連絡方法を確認しておきましょう。
- ・高齢者や介助が必要な人がいる場合には近所同士で助け合えるようにしておきましょう。（日頃の「おつきあい」が重要です）
- ・防災訓練等に積極的に参加し、消火器の使い方に慣れる等しておきましょう。（非常時に初めて使うとあわててしまい、ちゃんと使えない）

<今、行うべきは～被災地へ暖かい心を>

東日本大震災後には首都圏等において食品やペットボトル入りの水等の買いあさりも見られます。これらの中には被災地で必要なものと競合するものもあります。このため上記の非常持ち出し用の品々を買い揃えるにしても東日本大震災関連のことが一段落した後に行ってください。また今後も電力不足が予想されます。それぞれ工夫して省エネ、節電に努めてください。

被災地への義援金は（義援金詐欺の危険もありますので）日本赤十字社等の信頼のおけるルートを通じて行ってください。